

牛伝染性リンパ腫ウイルスプロウイルス量定量法 BLV-CoCoMo-Dual qPCR における全血からの ゲノム DNA 抽出法の検討

綿貫園子 松浦遼介 王 靖源 山田剛史

包 阿栄高娃 間 陽子[†]

東京大学大学院農学生命科学研究科 (〒 113-8657 文京区弥生 1-1-1)

(2025 年 8 月 21 日受付・2026 年 2 月 2 日受理・2026 年 8 月 15 日公開)



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/79/8/79_e121/article/-char/ja

要 約

牛伝染性リンパ腫ウイルス (BLV) のプロウイルス量 (PVL) 定量法である BLV-CoCoMo Dual qPCR 法 (Dual-CoCoMo 法) の簡便・迅速かつさらなる高感度化を目的とし, Dual-CoCoMo 法に用いる DNA 抽出法の検討を行った. DNA 抽出について, 従来の Wizard 法と新たに選択した Pure SPIN 法を比較したところ, Pure SPIN 法の DNA 収量は Wizard 法に比べて高かった. そこで, 得られた DNA を用いて PVL 定量を行ったところ, 既存法で最も高感度である Wizard 法 + Single-CoCoMo 法で陰性となった 6 検体は, Pure SPIN 法 + Dual-CoCoMo 法では全て PVL が定量され, 本手法は高感度に PVL を定量できることが示された.

——キーワード: 牛伝染性リンパ腫ウイルス (BLV), DNA 抽出, プロウイルス量 (PVL), リアルタイム PCR.

----- 日獣会誌 79, e121～e129 (2026)